



(参考仮訳)

プレスリリース No. 13/406
即時解禁
2013年10月16日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

米国債務上限をめぐる措置に関する IMF 専務理事による声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、以下の声明を
発表した。

「米国議会は、連邦政府機関の一部閉鎖を終了させ債務上限の引き上げを実現する
など重要かつ必要な措置を講じた。これにより、米国政府は予算協議を進める一方
で、今後数カ月間、業務を途絶えることなく継続することが可能になる。

今後については、債務上限を一段と永続的な手法で引き上げることで財政政策にか
かる不確実性を減少させることが不可欠となろう。米国が 2014 年度予算を承認し、
一律歳出削減を経済回復を阻害することがない段階的な措置に切り替えるとともに、
均衡ある包括的な中期的財政計画を承認するよう、我々も引き続き促す」